

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第14週[4月5日~4月11日]

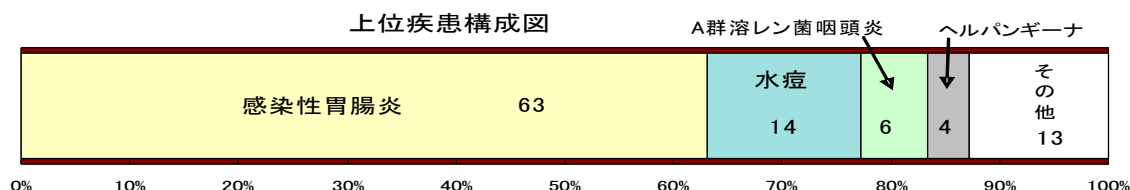
高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

○ 患者情報総評

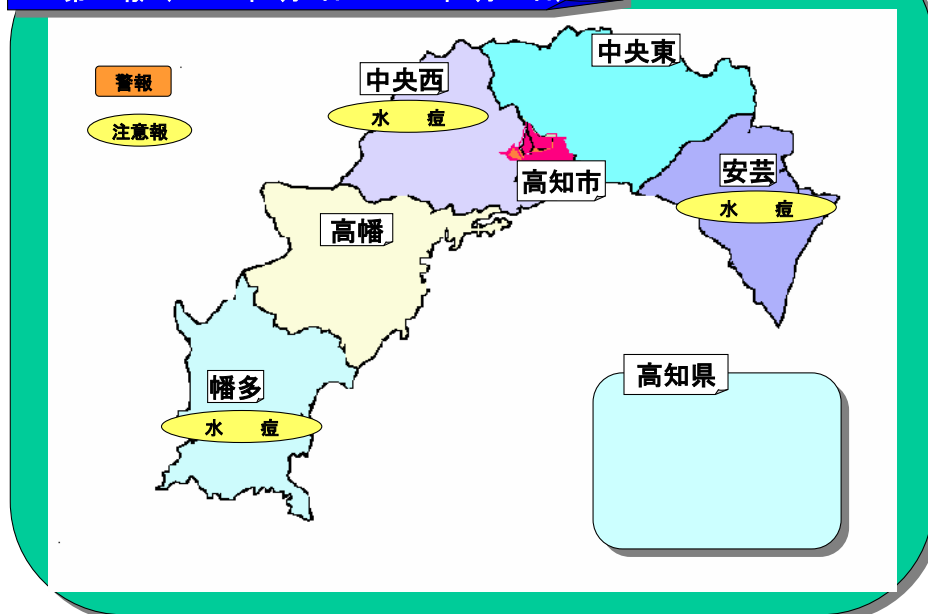
注意報発令疾患：なし

- ・ 週の後半は雨の日が多かったが、20℃を超過する日もあり、過ごしやすくなった。しかし、寒気の影響で、気温が低くなる日もあり、体調管理に充分注意が必要である。
- ・ 感染性胃腸炎は高幡と幡多で増加したが、その他の地域で減少し、総数はやや減少した。
- ・ 水痘(中央西：注意報、幡多：注意報→注意報、安芸：注意報)は中央西、幡多、安芸で増加し、注意報値を超している。
- ・ ヘルパンギーナは夏型疾患であり低いレベルで推移していたが、前週の3倍に増加し上位第4疾患となった。同じ夏型疾患である手足口病も増加しており、今後の推移に注目される。
- ・ インフルエンザは3例の報告があり、いずれも20歳代であった。そのうち1例はA型、1例はB型が簡易キットで陽性となっている。



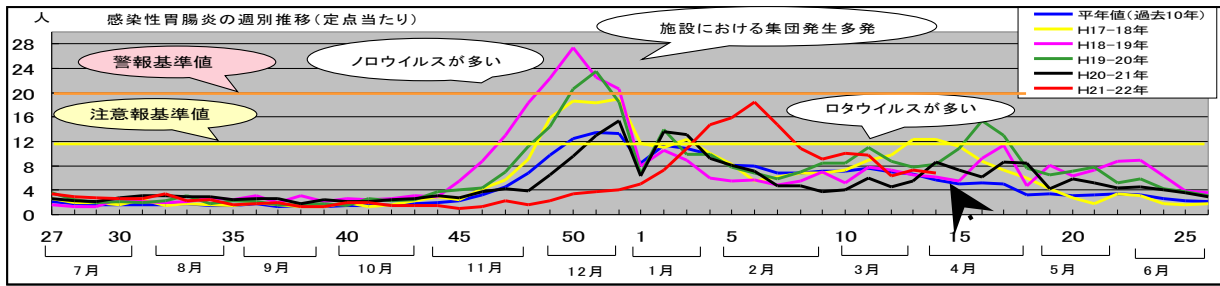
地域別感染症注意報・警報発生状況

第14報 (2010年4月5日~2010年4月11日)



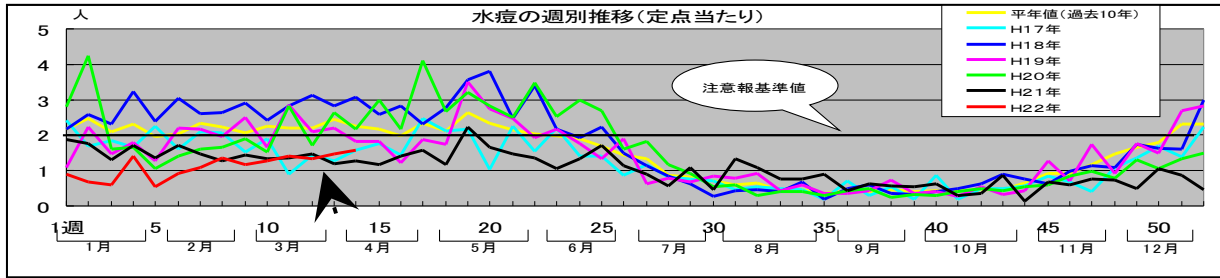
感染性胃腸炎：今週6.73 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

高幡と幡多では増加したが、注意報値を超える地域はなかった。今週搬入された検体からはNorovirus GII 2件, Sapovirus 1件, Rotavirus 1件が検出されている。総数は減少しているが、6月頃までは小流行のみられる年もあり、今後も推移に注意が必要である。



水痘：今週1.57（注意報値：2.00 警報値：4.00）

総数は小幅ではあるが、増加傾向が続いている。例年6月頃までは流行がみられており、今後も推移が注目される。



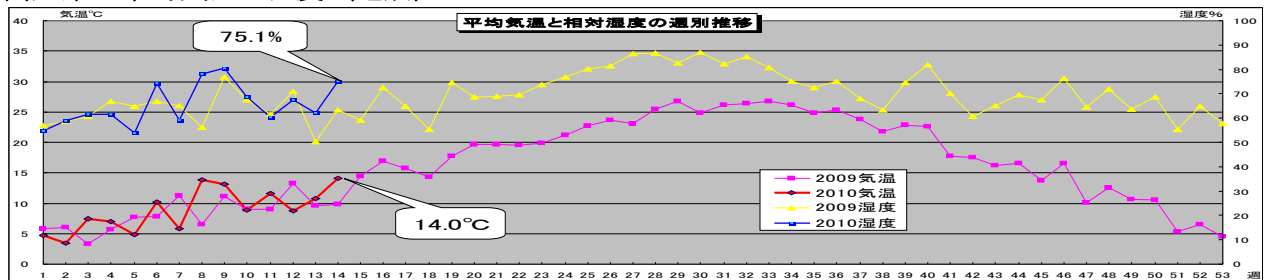
○ **検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
13	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3歳男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-12
14	百日咳	7歳男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
14	感染性胃腸炎	4歳男	高知市	Sapovirus
14	感染性胃腸炎	4歳女	高知市	Rotavirus A群
14	感染性胃腸炎	2歳女	高知市	Norovirus GII
14	気管支炎	7ヵ月女	高知市	Human metapneumovirus
14	感染性胃腸炎	8ヵ月女	高幡	Norovirus GII

○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 3例（59, 81, 84歳女）《高知市》（今年38例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

幡多：

《さたけ小児科》：マイコプラズマ感染症 1例（11歳男）ヘルペス歯肉口内炎 1例（8歳男）

高幡：

《もりはた小児科》：百日咳の1例（11歳女）は東浜株1280倍，山口株1280倍

中央西：

《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（10ヵ月男）は須崎市

《石黒小児科》：口唇ヘルペス 2例（11歳男，34歳女）

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの1例（20歳代男）はA型陽性

高知市：

《細木病院小児科》：感染性胃腸炎の2例（9ヵ月男，2歳女）はロタウイルス陽性

《三愛病院小児科》：アデノウイルス感染症 1例（1歳女）

《けら小児科・アレルギー科》：百日咳の3例は予防接種4回済み。各症例は（9歳男：香美市）東浜株1280倍，山口株320倍，（7歳男：南国市）東浜株320倍，山口株160倍，（4歳女：大豊町）東浜株1280倍，山口株40倍

《国立病院機構高知病院内科》：インフルエンザの1例は20歳代女
《町田病院》：流行性角結膜炎の1例（20歳代男）はアデノウイルス陽性

中央東：

《早明浦病院小児科》：感染性胃腸炎が継続して増多。うち1例（1歳男）はノロウイルス陽性
《いちほら内科小児科》：インフルエンザの1例（20歳代女）はB型陽性

安芸：

《田野病院小児科》：ロタウイルスによる胃腸炎が増加している

全国情報第12週（3/22～3/28）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核227例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症12例（有症者10例、うちHUSなし）、パラチフス1例

4類感染症：A型肝炎13例、つつが虫病1例、デング熱3例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎（C型）1例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群14例（AIDS 3例、無症候11例）、梅毒8例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、麻しん4例

報告遅れ：パラチフス1例、E型肝炎2例、デング熱2例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症1例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

◆感染性胃腸炎関連ウイルス2009/10シーズン

2009/10シーズンに入ってからからの病原体個票による報告では、2009年第36週～2010年第12週にノロウイルスgenogroup (G) I 134件（うち、GI/2 1件、GI/4 11件、GI/7 2件、GI/8 11件、GI/12 1件、NT 108件）、GII 1,474件（うち、GII/1 1件、GII/2 155件、GII/3 30件、GII/4 219件、GII/6 15件、GII/7 2件、GII/12 10件、GII/13 2件、GII/14 3件、NT 1,037件）、G不明161件、サボウイルス41件（うち、GI 7件、GII 4件、NT 30件）、SRSV（電顕で検出）1件、A群ロタウイルス95件（うち、G12件、G9 1件、NT 92件）、アストロウイルス（1型）1件が検出されている。

ノロウイルスは2009年中は例年に比べ検出報告数が少なかったが、2010年に入ってからからは例年同様に推移している。

また、集団発生病原体票ではノロウイルス集団感染事例が369事例 [GII 288事例（うち、GII/275事例、GII/3 11事例、GII/4 54事例、GII/6 2事例、GII/12 5事例、GII/13、GII/14、GII/2+GII/3、GII/2+GII/4、GII/2+GII/6、GII/4+GII/13 各1事例）、GI 34事例（うち、GI/4 7事例、GI/8 5事例、GI/14 1事例）、G不明35事例、GI/8+GII/4 1事例、GI/4+GII/2+GII/4 1事例、GI+GII 9事例、ノロウイルス（GI+II）&サボウイルス（NT）1事例] が報告されている。その他に、サボウイルス（GI）が1事例、A群ロタウイルス2事例（うち、G3 1事例）が報告されている。

372事例の推定感染経路は飲食店などでの食中毒および有症苦情が144事例、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、老人施設・福祉施設、病院、ホテル、宿舎・寮などでの胃腸炎集団発生が211事例、その他・詳細不明17事例である。

◆インフルエンザウイルス2009/10シーズン

2009年第19週に採取された検体から新型インフルエンザウイルスAH1pdmが最初に分離・検出され、第20週以降検出数が増加し、第28週以降は毎週500件を超える報告が続いたが、2010年第4週以降減少した。2010年第12週までに全都道府県から30,692件が報告されている。

このうち、15,609件はPCRで検出、12,584件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、2,499件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎（肺炎、気管支炎）2,776件、インフルエンザ脳症316件、死亡例95件が報告されている。

同期間（第19週～第12週）に季節性インフルエンザウイルスの分離・検出はAH1亜型（Aソ連型）が65件、AH3亜型（A香港型）が930件、B型が157件の報告があり、AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の96%を占めている。

2009/10シーズンに入ってからからは、AH1pdmが2009年第36週～2010年第12週に全都道府県から21,067件報告されている。AH3亜型は第36～44週に10道府県から15件報告され、その後16週間報告がなかったが、第8～12週に4道府県から10件報告されている。B型は2009年第29週以降報告がなかったが、山形系統株が第47週に1件（大阪府）、第2週に1件（滋賀県）、第9～10週に4件（北海道、福岡県）、ビクトリア系統株が第50週に1件（新潟県）、第3～12週に8都道府県から41件、系統不明株が第5～12週に2都道府県から6件報告されている。AH1亜型は第36週以降報告されていない。

このうち、輸入例からの分離・検出が36件（AH1pdm 32件、AH3亜型4件）報告されている。

2010年第8～12週の5週間ではAH1pdmが33都道府県から282件、AH3亜型が10件（熊本県から6件、千葉県から2件、栃木県、鹿児島県から各1件）、B型が37件（うち、ビクトリア系統株が北海道、神奈川県、三重県、広島県から各6件、兵庫県から3件、東京都から2件、計29件、山形系統株が北海道から3件、福岡県から1件、系統不明株が東京都から3件、富山県から1件）報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計) H22/1/4~H22/4/11
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ		1	1	1			3 (0.06)		810 (0.17)	2,540 (52.92)
	咽頭結膜熱		1	1				2 (0.07)	1 (0.03)	503 (0.17)	15 (0.50)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	8	4		4	20 (0.67)	18 (0.60)	3,409 (1.13)	298 (9.93)
	感染性胃腸炎	22	43	80	29	10	18	202 (6.73)	218 (7.27)	23,326 (7.71)	4,417 (147.23)
	水痘	4	3	15	10	1	14	47 (1.57)	44 (1.47)	5,685 (1.88)	471 (15.70)
	手足口病			3	4	1	1	9 (0.30)	2 (0.07)	1,183 (0.39)	32 (1.07)
	伝染性紅斑			3				3 (0.10)	2 (0.07)	573 (0.19)	25 (0.83)
	突発性発疹		1	5		2	1	9 (0.30)	9 (0.30)	1,623 (0.54)	122 (4.07)
	百日咳			3		1		4 (0.13)	2 (0.07)	58 (0.02)	15 (0.50)
	ヘルパンギーナ		2	10				12 (0.40)	4 (0.13)	220 (0.07)	30 (1.00)
	流行性耳下腺炎								7 (0.23)	3,505 (1.16)	56 (1.87)
	RSウイルス感染症			5				5 (0.17)	11 (0.37)	896 (0.30)	751 (25.03)
	アフター性口内炎								3 (0.10)		25 (0.83)
眼科	急性出血性結膜炎			1				1 (0.33)		11 (0.02)	2 (0.67)
	流行性角結膜炎			3				3 (1.00)	1 (0.33)	351 (0.52)	10 (3.33)
基幹	細菌性髄膜炎									8 (0.02)	2 (0.29)
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.14)		8 (0.02)	2 (0.29)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)		136 (0.30)	12 (1.71)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1 (0.14)	9 (0.02)	3 (0.43)
計 (小児科定点当たり人数)	26 (13.00)	55 (7.81)	140 (12.15)	48 (15.87)	15 (7.50)	38 (7.60)	322 (10.50)				
前週 (小児科定点当たり人数)	30 (15.00)	71 (10.14)	137 (12.27)	39 (13.00)	18 (9.00)	28 (5.60)		323 (10.70)	42,314	8,828 (261.48)	

定点当たり

第14週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週
			中央東	高知市	中央西				
内科・小児科	インフルエンザ		0.09	0.06	0.20			0.06	
	咽頭結膜熱		0.14	0.09				0.07	0.03
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	0.73	1.33		0.80	0.67	0.60
	感染性胃腸炎	11.00	6.14	7.27	9.67	5.00	3.60	6.73	7.27
	水痘	2.00	0.43	1.36	3.33	0.50	2.80	1.57	1.47
	手足口病			0.27	1.33	0.50	0.20	0.30	0.07
	伝染性紅斑			0.27				0.10	0.07
	突発性発疹		0.14	0.45		1.00	0.20	0.30	0.30
	百日咳			0.27		0.50		0.13	0.07
	ヘルパンギーナ		0.29	0.91				0.40	0.13
	流行性耳下腺炎								0.23
	RSウイルス感染症				0.45			0.17	0.37
	アフター性口内炎								0.10
眼科	急性出血性結膜炎			1.00				0.33	
	流行性角結膜炎			3.00				1.00	0.33
基幹	細菌性髄膜炎								
	無菌性髄膜炎			0.20				0.14	
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.14
計 (小児科定点当たり人数)		13.00	7.81	12.15	15.87	7.50	7.60	10.50	
前週 (小児科定点当たり人数)		15.00	10.14	12.27	13.00	9.00	5.60		10.70

2010年週報推移(定点当たり)

